別添資料２

神奈川建築コンクールについて

１　コンクールの概要

本コンクールは、建築文化、建築技術の向上並びに良好な市街地の形成に役立つ優れた建築物を表彰することで、県内の建築物の質の向上を図るとともに、安全で安心、かつ人や環境にやさしい魅力あるまちづくりを推進することを目的に、昭和31年から実施しています。

審査は、住宅部門、一般建築物部門それぞれに学識経験者などからなる審査委員会を設け、「企画力」、「設計力」、「施工力」及び「既存建築物の有効活用、環境、景観、福祉、防災、その他（情勢を踏まえた取組や若手の奨励等）のいずれかに対する配慮」等を総合的に判断し入賞作品の選定を行い、主催者で構成する実行委員会で決定します。

２　審査経過

今回は、令和６年６月１日から令和８年５月31日までに工事が完了した建築物を対象に募集を行い、住宅部門、一般建築物部門合わせて54件の応募をいただきました。

審査委員会は、提出された書類、図面、写真で一次選考（書類審査）を行い、そこで選定した22件について現地審査のうえ二次選考を行い、入賞作品を選定しました。

	応募件数	一次選考通過件数	二次選考通過件数
住　宅　部　門	29件	11件	９件
一般建築物部門	25件	11件	９件

３　入賞作品選評

(1) 住宅部門（審査委員：鈴木信弘）



「素襲の家（そかさねのいえ）」は、石場立ての基礎、手刻みによる大工技術、竹小舞と土壁による住民参加型施工を通して環境負荷を抑えるだけでなく、市民が家づくりに関わる現代の「結」ともいうべき仕組みに挑戦している。施主でもある設計者が施工者と共に、つくり方そのものを社会へ開いた点を高く評価した。



「ニカイメノイエ」は、設計者・施工者である家族が古家屋を購入し、自ら解体して得た構造材、板材、土などを約30％程度再利用した新築である。建築材料を次世代へ受け渡すアップサイクルの仕組みへ展開する姿勢に、今後の住宅生産への可能性と示唆を見た。

(2) 一般建築物部門

（審査委員：藤岡泰寛）



「明治大学生田キャンパスセンターフォレスト」は、大学キャンパスの再編計画である。老朽化した教室棟の更新と既存図書館の機能移転を契機にハブとなる新しい中心が生まれている。PC床版により内部に自由度の高い無柱空間が確保され、縦方向の杉板型枠を用いたRC打ち放し仕上げの列柱が様々な役割を担いながら象徴的にも内外を繋いでいる。図書館移転計画にも工夫がみられ総合的に優れた建築となっている。

４　神奈川建築コンクール　関係団体・審査委員一覧

(1) 主催者

神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、藤沢市、鎌倉市、厚木市、平塚市、小田原市、秦野市、茅ヶ崎市、大和市

(2) 協賛団体

・独立行政法人住宅金融支援機構
・一般社団法人神奈川県建設業協会
・一般社団法人神奈川県建築士会
・一般社団法人神奈川県建築士事務所協会
・一般社団法人日本建築学会関東支部神奈川支所
・一般社団法人神奈川県商工会議所連合会
・公益社団法人日本建築家協会関東甲信越支部神奈川地域会（ＪＩＡ神奈川）
・一般財団法人神奈川県建築安全協会

(3) 後援団体

・神奈川新聞社
・日刊建設工業新聞社
・日刊建設通信新聞社
・ｔｖｋ（テレビ神奈川）
・建通新聞社
・日本工業経済新聞社

(4) 令和８年度 審査委員

（住　宅　部　門）

・鈴木 信弘　　神奈川大学 教授
・古賀 紀江　　関東学院大学 教授
・佐藤 英仁　　神奈川新聞社 統合編集局次長兼編成部長兼紙面研究室長
・田井 幹夫　　公益社団法人日本建築家協会関東甲信越支部
　　神奈川地域会（ＪＩＡ神奈川） 幹事
・中嶋 陽介　　独立行政法人住宅金融支援機構 横浜センター長
・羽太 美孝　　一般財団法人神奈川県建築安全協会 常務理事

（一般建築物部門）

・藤岡 泰寛　　横浜国立大学大学院 教授
・野村 和宜　　一般社団法人日本建築学会関東支部神奈川支所 幹事
・白井 崇雄　　一般社団法人神奈川県建設業協会 常任理事
・古谷 雄一　　一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 副会長
・村島 正章　　一般社団法人神奈川県建築士会 副会長
・山下 賀津雄　一般社団法人神奈川県商工会議所連合会 大和商工会議所 専務理事